

地震に強い地域をつくる

32 耐震補強事例を見る

以下には、町家の耐震性向上の要点を文献1)を参考に整理している。ここでは、耐震性能を向上させるために行われた補強事例を紹介する。

- ①建築部材(木材、土壁等の耐震要素)の健全化
 - ・老朽化部材の取替
 - ・腐朽部材の取替
 - ・虫菌蟻害部材の取替
 - ・破損(折損、割裂、欠損、剥落)部材の取替
- ②耐震性能を向上させる
 - ・建築物荷重の軽量化
 - ・必要な耐力壁量の増設(建物の特性を理解して使用する耐力壁を決める)
 - ・耐力壁配置の適正化
 - ・接合部(柱と横架材仕口)に制震装置(ダンパー)を設置
- ③伝統構法木造建築物の構造上の弱点を補う
 - ・接合部の補強(柱と横架材仕口の一体化等)
 - ・石場建て柱脚部の足固め補強

参考文献

1) 金沢市:金沢市伝統構法木造建築物耐震性向上マニュアル(町家編)、2011年3月

■壁増設



萩市浜崎(旧山村家住宅)

■木製筋かい補強



川越市川越

桜川市真壁

■面格子補強



榎原市今井町伝建地区(今井まちづくりセンター)

■鉄筋ブレース補強



篠山市福住伝建地区 (Trattoria al Ragù)

■鋼板ブレース補強



橿原市今井町伝建地区 (今井まちや館)

■制震補強 (仕口ダンパー)



萩市浜崎伝建地区 (旧山中家住宅)

鹿島市浜庄津町浜金屋町伝建地区



篠山市城下町 (篠山ギャラリーKITA'S)

■乾式建材 (モイスTM) を用いた内装にも配慮した土蔵内部の補強

